

令和7年度事業報告

【事業実績の概要】

項目	今年度	前年度
正会員数	553人 (入会62人、退会76人)	567人 (入会60人、退会72人)
粗入会率	4.13%	4.18%
賛助会員	61団体 (入会1、退会4)	64団体 (入会2、退会3)
契約金額	303,226,932円	310,022,860円
うち一般事業	233,574,399円	241,454,433円
派遣事業	69,652,533円	68,568,427円
契約件数		
一般事業	4,157件	4,419件
派遣事業	35件	38件
就業延日人員	83,828人日	87,214人日
うち一般事業	69,977人日	73,346人日
派遣事業	13,851人日	13,868人日
就業実人数		
一般事業	514人	536人
派遣事業	141人	150人
就業率(一般)	92.9%	94.5%
傷害事故件数	0件	0件
賠償事故件数	4件	0件

正会員数については、会員の皆さまによる友人、知人の入会勧誘や年明け1月から3月にかけて実施した入会促進キャンペーンなどを積極的に進めました。

しかしながら、全国的な少子高齢化、企業の定年延長、再雇用制度の定着という社会的傾向が続いています。

令和7年度末の正会員数は、令和8年3月末時点で、対前年比14人減の553人となりました。

契約金額については、国道158号上半原地係の山腹崩壊による通行止めが大野市内への観光客入込数に大きく影響を及ぼしたことやガソリン代、電気料金の高騰など物価上昇の厳しい社会経済状況の影響から、受注件数は伸び悩みました。その結果、一般事業は前年より7,880千円減少、派遣事業は1,084千円の増、全体では6,796千円の減少となりました。

会員のシルバー保険適用による傷害事故については、平成29年7月1日より無事故を継続しており、令和7年度末現在、無事故継続期間は3,195日となっています。その功績としまして、全国シルバー人材センター事業協会（以下「全シ協」という。）から『安全就業シルバー人材センター』優秀賞を受賞しました。

また、全シ協の委託事業「シルバー会員就業支援事業」に応募し採択されました。この事業を活用することにより、就業時の負担を軽減する「アシストスーツ」や「自走式草刈機」などを借用することができ、作業活動の支援を行うなど、安全に対するより一層の取組みを行いました。

1 新会員の入会促進

入会説明会の開催、広報誌や折り込みチラシ、ホームページでの会員募集に加え、次の取組みを実施しました。

(1) 会員による入会勧誘の推進

「一人一会員紹介運動」として会員紹介カードを活用し、31名の新規入会者をご紹介いただきました。ご協力いただいた会員は、瓦版にて紹介しました。

(2) 入会促進キャンペーンの実施

1月から3月の3か月間にわたりキャンペーンを実施し、新たに24名が入会されました。

(3) 夫婦・同一世帯家族会員に対する会費減免制度の運用

昨年度から導入した夫婦または同一世帯の家族会員のうち、どちらか一人の会費を半額とする会費減免制度は、30名の会員が活用されました。

この制度は、退会抑制および入会促進に一定の効果を上げました。

(4) 県シ連事業の活用

福井県シルバー人材センター連合（以下「県シ連」という。）が実施する「高齢者活躍人材確保育成事業」を活用し、独自事業等での就業体験、スマホ講習の開催、市広報誌「広報おおの」への広告掲載を行いました。また、新聞チラシを活用し、就業内容説明会と会員募集を合わせて行い入会促進に

努めました。

2 就業機会の確保・拡大

「瓦版」などによる就業紹介や会員による紹介活動に加え、次の取組みを実施しました。

(1) 会員一人ひとりの協力

「一人一仕事紹介運動」の継続により、延べ60名の会員が仕事の紹介やシルバー人材センター利用にご協力くださいました。ご協力いただいた会員のお名前を瓦版で紹介しました。

(2) 広報誌等の活用

会員機関紙「シルバーアンテナおおの」を通じ、市内の事業所や市民の皆さまに会員が行う仕事を周知し、会員の増加を図るとともに、就業機会の開拓・確保に努めました。

また、商工会議所会報、新聞に求人情報の折り込みチラシを配布、および、ハローワークを通じ60歳以上の求職者向け求人情報の継続提供を行い、シルバー人材センター事業（以下、「シルバー事業」という。）およびシルバー派遣活用のPRと就業機会の拡大に取り組みました。

3 安全・適正就業、健康増進活動の推進

会員の安全・適正な就業および健康増進を目的に、次の取組みを行いました。

(1) 安全・適正就業推進大会の開催

7月4日に有終会館にて大会を開催し、31名が参加しました。

当日は、県シ連と大野消防署員による熱中症対策や県内の事故事例を聞き就業時の安全意識の向上を図りました。

(2) 交通安全講習会

自転車交通反則通告制度の施行を控え、9月24日に大野警察署員による「高齢者自転車安全講習会」の開催、12月16日は「年末交通安全講習」を開催し「安全運転シミュレーター・トレーニング」を体験するなど就業時以外での交通安全意識の向上を図りました。

(3) 安全・適正就業部会員によるパトロールの実施

屋内外の就業現場へ部会員が安全・適正就業パトロールを実施しました。県シ連との合同パトロールも含め、年間23か所で実施し、「安全就業チ

チェックリスト」に基づき、服装・安全保護具の着用状況、器具・道具の使用状態、就業場所の安全確保などを点検しました。

(4) 安全意識の啓発

「瓦版」の「安全だより」コーナーにて、事故の発生状況や作業時の注意事項を掲載し、会員の安全意識向上を図りました。

また、「交通安全標語入り立て看板コンクール」、「チャレンジ250」、県シ連主催の「GPS タグを使用した安全運転診断」への参加。さらに、公用車を使用する際の出発前アルコール検知器確認を徹底し、酒気帯び運転の防止など安全運転啓発にも努めました。

(5) 健康増進活動の推進

会員が健康で安心して働けるよう、12月3日に健康大会を開催し、会員41名が参加しました。和泉診療所の山崎医師から「認知症予防について」の講演、清水講師指導による「リンパ体操」を体験し、日常生活から体調管理への健康意識の向上を促しました。

また、健康寿命の視点から会員のフレイルチェックを会費収納時に行い、介護リスクへの意識啓発を図りました。

4 独自事業の推進

安定した就業機会の確保と地域住民の期待に応えるため、18の独自事業を継続して展開してきました。

年間の売上実績は、前年より4,762千円減少し、64,484千円となりました。今年度上半期の国道158号の通行止めにより大野市内への観光客入込数が大きく減少し、そして、猛暑の影響を受け秋冬野菜の出荷量が減少したことにより6次産業関連事業を中心に影響を受けました。

一方、地域住民や児童等との交流を目的とした「ねんりん秋市」や「ふるさとクラブ」などを開催し、地域との交流や情報発信を図りました。

- ・令和7年7月23日~8月1日 「ふるさとクラブ」開催、市内児童39名参加
- ・令和7年9月9日 ココ・の一そんに於いて、さつまいも羊羹を商品開発し販売開始。県事業「地域農業支援員設置事業」を活用
- ・令和7年10月8日 栗拾いイベント開催 荒島保育園児12名参加
- ・令和7年10月19日 小山まつりでの刃物研ぎ班出店
- ・令和7年11月1日 「ねんりん秋市」開催、阪谷小学校として最後となる児童も参加し、手作り野菜を販売

- ・令8年1月27日～30日 市内小中学校給食用に、のっぺい汁や味噌汁の具材として、里芋をスライスした食材を提供。県事業「ふくいの地場産学校給食推進事業」を活用

5 普及啓発活動

センター事業の意義を広く社会に発信するため、次の普及啓発活動を実施しました。

(1) 広報紙等の発行

「シルバーアンテナおおの」を8月と1月に2回発行し、市民の皆さまに対しシルバー事業の情報提供を行いました。

また、「瓦版」を2か月に一度、奇数月に発行し、理事会や各専門部会からの報告やお知らせ、独自事業の取組みなどを会員へ情報共有しました。

(2) 「目で見るとシルバー」の作成

シルバー事業や各行事、ボランティア活動など会員の活動を写真に収め、ワークプラザねんりん内で掲示することで会員の活動状況を紹介しました。合わせて、「ねんりん秋市」や「ふるさとクラブ」での市内児童の活動の様子なども紹介しました。

(3) ホームページ、SNSの活用

ホームページでの就業情報の掲載およびアプリ「Smile to Smile」でも就業情報が閲覧出来るよう改善を行いました。そして、Instagramやフェイスブックで、まごころ弁当や会員の活動状況などを随時発信しPRに努めました。

(4) 各種イベントやボランティア活動への参加

- ・令和7年4月26日～27日 山菜フードピア出店
- ・令和7年5月25日 名水マラソン応援ボランティア出店
- ・令和7年10月4日 「シルバーフェスタ2025イン大野」開催
- ・令和7年10月18日 「シルバーフェスタ2025イン金沢」出店
- ・令和7年10月25日 有終公園清掃ボランティア
- ・令和7年10月25日～26日 三大朝市出店
- ・令和8年3月20日 七間朝市開き出店

6 地域班活動推進による会員連帯意識の高揚

地区ボランティア活動は、3か所で実施されました。

- ・下庄地区 下庄公民館周辺の清掃 令和7年10月11日(土)
- ・上庄地区 上庄公民館周辺の清掃 令和7年7月30日(水)
- ・小山地区 小山忠魂碑の清掃 令和7年10月11日(土)

地区懇談会は、2月16日から2月26日までの間で、大野、下庄、乾側、小山、上庄、富田、阪谷、五箇、和泉地区の延べ8会場で開催しました。会員の参加人数は、延119名で、参加率は19.8%と会員の5人に1人程度となりました。

7 財源の確保

シルバー人材センターの主たる運営財源は、正会員・賛助会員の会費と事業の受取事務費及び補助金で構成されています。

(1) 会費（会員拡大の取組み）

新規入会促進を進めるとともに、賛助会員の確保を目的として理事による事業所訪問を実施し61団体から協力を得ることができました。

これにより、賛助会費合計は320千円となりました。

(2) 事務費（事業拡大に伴う収入）

一般事業（請負・委任）の契約額は、諸物価高騰の影響から一般家庭や民間事業所等で発注を控える傾向が解消されず、剪定・除草作業などに対応できる会員も減っていることから減少傾向であります。これにより、受取事務費も昨年度と比べ679千円の減少となりました。

また、労働者派遣事業は、昨年度と比べて、労働者派遣事業等受託収益は373千円増収で、受取事務費と合わせた合計収入は、38,620千円となりました。

(3) 市への支援要請

全シ協総会で採択された要請書に基づき、8月22日に大野市長及び大野市議会議長に対し、継続した補助金支援やセンターへの事業発注、並びに契約方式見直しに伴う適切な対応等について要請活動を行いました。

8 組織の強化

諸規程に則った運営や会員主体による組織活動の推進、デジタル化への対

応などに取り組みました。

- (1) 組織運営の透明性と健全性をさらに高めるため、役員構成に新たに外部理事および外部監事を導入しました。専門的な知見や客観的な視点を組織運営に取り入れることで、より一層信頼される組織体制を構築しました。
- (2) 理事会は、年間7回開催し事業の現状等把握とセンター事業の円滑な推進に努めました。
また、各理事が事業所等を訪問し、シルバー事業の説明を行いながら賛助会員の加入促進を図りました。
- (3) 「総務部会」、「事業部会」、「広報部会」、「安全・適正就業部会」および、「福利厚生部会」の5つの専門部会では、それぞれ担当業務に関する企画・運営を行い、シルバー事業の活性化に貢献しました。
- (4) 地域班においては、地域世話人を中心に地区懇談会やボランティア活動を通して会員間の交流と連帯意識の醸成に努めました。
- (5) 職群班では、安全作業と作業効率の向上に取り組みました。特に、野外作業においては草刈り・草取り班、雪囲い班、粗大ごみ班会議を開催し、作業時の注意事項や体調管理について確認を行い、安全就業の意識向上を図りました。
- (6) 事務局では、当センター職員が全シ協の経営力向上研修の講師に招聘され、また、別の職員が当研修に参加するなど当センターの経営力向上および組織強化に資する貴重な知見の共有と情報収集ができました。
- (7) 今年度も継続して、ポイントカード制度を活用し、センター行事等への参加を促す取り組みを推進しました。ポイント達成条件は10ポイントとし、達成者は29名となりました。
- (8) 会員への迅速かつ適切な情報提供を目的に、スマートフォンを活用したデジタル化を推進しています。入会説明会や会費納入時など機会を捉えて周知を行った結果、アプリ「Smile to Smile」の登録者数は、会員全体の6割を超える340名（令和8年3月末現在）となりました。

9 関係機関との連携

全シ協や県シ連等が開催する会議、行事への積極的参加や他団体と連携等に努めました。

- (1) 全国シルバー人材センター事業協会関係

- ・総 会 令和7年6月24日 書面による議決権行使
- ・経営力向上研修 令和7年8月4日～6日、令和7年10月9日～10日
令和7年12月15日～17日
- ・新任理事長研修 令和7年11月21日（東京）
- ・新任事務局長研修 令和7年9月1日～2日（東京）
- ・派遣元責任者講習 令和7年9月19日（大阪）
- ・WEB会議（各種動画配信期間内に聴講）

(2) 北信越シルバー人材センター協議会関係

- ・定期総会 令和7年7月22日 理事長、副理事長、事務局長出席
（独自事業発表：東課長、山田課長）
- ・北信越ブロック活動拠点経験交流会 令和7年11月17日～18日

(3) 福井県シルバー人材センター連合関係等

- ・総 会 令和7年6月25日（福井県織協ビル）
- ・理事会
 - 第1回 令和7年5月13日、 第2回 令和7年6月17日
 - 第3回 令和7年6月30日、 第4回 令和7年10月28日
 - 第5回 令和7年12月23日、 第6回 令和8年2月20日
 - 第7回 令和8年3月27日
- ・理事長会議
 - 第1回 令和7年10月28日 、 第2回 令和8年2月20日
- ・事務局長会議
 - 第1回 令和7年6月12日 、 第2回 令和7年10月21日
 - 第3回 令和8年2月9日
- ・シルバークフェスタ実行委員会
 - 第1回 令和7年5月20日 、 第2回 令和7年7月25日
 - 第3回 令和7年9月25日
- ・「ふくい元気・シルバークフェスタ2025 イン大野」 令和7年10月4日（有終会館）
- ・職員派遣（福井県連合）1名 令和8年1月19日～令和8年2月18日
- ・トップセミナー 令和7年12月2日（福井県織協ビル）
- ・安全・適正就業実務担当者会議 令和7年12月18日（福井県織協ビル）
- ・奥越地区安全会議 令和7年5月29日（永平寺SC）
- ・安全適正就業促進大会 令和7年7月24日（中小企業大学）

・会計・経理担当者研修会

令和8年1月27日（福井県織協ビル）

(4) その他

〔視察研修受入れ対応〕

- ・令和7年7月3日 全シ協職員視察（アシストスーツほか）（東京都）
- ・令和7年9月10日 坂井町民生委員児童委員視察（福井県）
- ・令和7年11月5日 志賀町シルバー人材センター役職員視察（石川県）
- ・令和7年11月19日～20日 岡山・浅口両市センター職員視察（岡山県）
- ・令和7年12月3日 みよし市シルバー人材センター役職員視察（愛知県）
- ・令和7年12月5日 岐阜市シルバー人材センター役職員視察（岐阜県）
- ・令和7年12月10日 福井市シルバー人材センター役職員視察（福井県）
- ・令和8年3月2日～7日 愛媛県松山市センター職員研修（愛媛県）